



## 父と子のさんかく カレッジ第3弾

子どもの笑顔を撮ろう！～パパのための  
カメラ講座(初心者向け)&  
ちょこっとさんかく教室

日時	3月25日(土) 9:30～11:30
場所	本町プラザ3階 はもりあ会議室他
対象	市内在住の小学生以下の子どもと父
内容	前半はパパはカメラ講座、お子さんは絵本読み聞かせ、後半は親子で撮影タイム。
定員	15組(先着順) 料金 無料
講師	MinimonPhoto 代表 福本由紀さん
持ち物	パスマイル四日市のみなさん 自分のカメラ、ご自身で撮った お気に入りの写真1枚
その他	無料託児あり

## 春休み子どもさんかくカレッジ

やってみよう楽しいキッズヨガ  
&ちょこっとさんかく教室

日時	3月31日(金) 未就学児クラス(親子ヨガ) 10:00～ 小学生クラス(子どもヨガ) 11:00～
場所	本町プラザ3階 はもりあこどものへや
対象	市内在住の4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)
定員	未就学児クラス 10組・小学生クラス 15名(いずれも先着順)
料金	無料
講師	楽ヨガ講師 伊藤爾己枝さん
持ち物	飲み物、動きやすい服装
その他	無料託児あり

申込みは、いずれも2月23日(木)9:00～電話・FAX・Eメールで「はもりあ四日市」まで  
ご不明な点がございましたら「はもりあ四日市」までお気軽にお問い合わせください。  
☎354-8331 FAX354-8339 Eメール: kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

## 許さないぞ落書き！

人の心を傷つける落書きは重大な人権侵害です。

最近、市内各所で悪質な落書きが発生しています。このような落書きによって心に計り知れない痛みをおぼえている人がいます。

心ない落書きを許さない、全ての人の人権が守られる明るい社会にしましょう。

問合せ	四日市市人権センター	354-8609
	津地方法務局四日市支局	353-4365
	みんなの人権110番	0570-003-110



## 男女平等教育指導者養成講座

日時	3月13日(月)～15日(水)の3日間 9:30～16:30
内容	市内の小学校向けの男女平等教育出前講座の指導者を養成します。
講師	遠矢 家永子(とおや かえこ)さん(NPO法人SEAN教育部門「G-Free」代表)ほか2名
場所	本町プラザ3階 はもりあ四日市会議室
対象	市内に在住、通勤、通学している人で、3日間とも受講でき、来年度から出前講座の講師として活動していただける方
定員	15人(先着順、定員になり次第×切)
参加費	無料
申込み・問合せ	※託児あり(無料。6カ月から未就学児程度。3月4日(土)までに申し込みが必要) はもりあ四日市(日・月・祝日休み)へ。☎354-8331 FAX354-8339 E-mail: kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

## 春の火災予防運動 3月1日(水)～7日(火) 消しましょう その火その時 その場所で



### ～火災の原因～

平成28年中に四日市市、朝日町、川越町で発生した火災は105件で、平成27年中の85件と比べ20件増加し、そのうち「建物」火災が70件で全体の約67%を占めています。出火原因は、「放火」(放火の疑いを含む)が最も多く、次いで、「たばこ」、「こんろ」と続いています。

### ～住宅防火 いのちを守る7つのポイント～

#### 《3つの習慣》

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



#### 《4つの対策》

- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



### ～火災から身を守るために～

住宅用火災警報器が適切に作動するか点検ボタンを押すなどして確認し、定期的にほこりなどを拭き取りましょう。また、住宅用火災警報器本体の交換目安は10年です。

問合せ 四日市消防本部 予防保安課 ☎356-2010

## 人権懇談会「ケータイ・ネット社会と人権について」

## 富洲原地区人権教育推進協議会



1/20(金) 富田一色



1/27(金) 天力須賀



2/3(金) 松原

3地区の公会堂で人権懇談会が行われ、DVD「あの空の向こうに」を鑑賞した後、グループに分かれて話し合いました。ケータイやインターネットは便利な反面、使い方によっては人を傷つけることもあります。その危険性を十分認識しながら上手く活用することが大切であり、また、本当の意味での人と人とのつながりとは何かを考える機会になりました。

2/4  
(土)

## 津波・高潮ステーションを視察研修 富洲原地区連合自主防災隊



富洲原地区自主防災隊は大阪市の「津波・高潮ステーション」を訪れ、29名が研修を行いました。南海トラフ巨大地震や津波についての説明の後、リアルな迫力ある映像が映し出されるダイナキューブ 津波災害体感シアターで津波の恐ろしさを体感しました。また、災害から命を守るための知恵として日頃から心がけておきたいことや、災害時の適切な行動を学びました。今回の研修をこれからの防災活動に活かしていきたいと思っております。